

**UDR** UDR-XL40 / XL40e

# セットアップガイド



**KG** KEISOKU  
GIKEN

M-1233 Rev 1.3.0

1. 本資料に記載された製品および製品の仕様は、信頼性、機能、設計の改良の理由により予告なく変更されることがあります。
2. 本資料の一部又は全部を当社に無断で転載または複製することを堅くお断りします。
3. 本製品の使用によって発生した、いかなる直接あるいは間接的な損害に対して、(株)計測技術研究所は責任を負いません。
4. 本資料によって第三者または(株)計測技術研究所の特許権その他権利の実施権を許諾するものではありません。
5. 本資料で記述する製品名などの固有名詞は、各メーカーの登録商標、または商標です。

## はじめに

弊社のデータレコーダUDR-XL40 / XL40e を安全にお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの「セットアップガイド」を最後までよく読んでください。また、安全上の注意事項は必ずお守りの上、正しくご使用ください。お読みになった後は、本書をいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 安全のための注意事項

弊社の製品は安全に十分配慮して設計してありますが、電気製品である以上、間違った使い方をすると火災や感電などにより死亡や大けがなど、人身事故につながることもあり危険です。本書に記載の注意事項を守り、正しい使用法でご使用ください。

## 故障したら使用を中止する

故障したと思ったら、無理に使用することは避け、弊社のサービス担当者、または営業担当者にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

### 発煙・異臭・異音が発生した場合

⇒すぐに電源を切り、電源コードを電源から抜いてください。また接続されているコード類を全てはずし、弊社営業部までご連絡ください。

### 発火した場合

⇒すぐに電源を切り、電源コードを電源から抜くか、ブレーカーを落とし、すぐに消火してください。

## 本装置の保証について

本装置には「保証書」が添付されています。「保証書」には修理サービス及び保証規定に関する情報が記載されておりますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保障期間内に万一故障した場合、保証規定に基づいて修理いたします。

### 問い合わせ先

MV 事業部 映像機器セールス・サポート

TEL: 045-948-0215

[VWsales@hq.keisoku.co.jp](mailto:VWsales@hq.keisoku.co.jp)

## 電源コードについて

### 警告！

本製品に添付の電源ケーブルは本製品専用となっております。

他の機器には使用しないでください。

## 高調波規制への適合について

本製品は業務用機器の為、高調波電流規制の対象外製品です。

高調波電流規制には対応していません。

# 目次

安全上のご注意.....	5
警告表示の意味.....	5
使用法に関する注意事項.....	6
電源に関する注意事項.....	7
設置・運搬に関する注意事項.....	8
清掃に関する注意事項.....	10
液晶画面に関する注意事項.....	10
メディアの速度低下に関する注意事項.....	10
<b>1. 製品の設置.....</b>	<b>11</b>
1.1 搬入と開梱.....	11
1.2 電源.....	12
1.3 設置環境.....	13
1.4 設置スペース.....	14
1.4.1 UDR-XL40 .....	14
1.4.2 UDR-XL40e .....	15
1.5 各部の名称と機能.....	16
1.5.1 UDR-XL40 .....	16
1.5.2 UDR-XL40e .....	19
1.6 ケーブル接続方法.....	22
1.7 ケーブルの取り外し.....	23
<b>2. 運転操作.....</b>	<b>24</b>
2.1 起動.....	24
2.2 設定や各種操作.....	24
2.3 電源を切る.....	24
2.4 ビデオメディアの交換.....	25
<b>3. メンテナンス.....</b>	<b>25</b>
3.1 清掃について.....	25
3.2 定期チェック.....	25
<b>4. 更新履歴.....</b>	<b>26</b>

## 安全上のご注意

このセットアップガイドは、安全にお使いいただくために次の記号で警告及び注意表示を行っています。内容をよくご理解の上でお読みください。

### 警告表示の意味

	<p><b>警告</b></p> <p>この内容を見逃して誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p>
	<p><b>注意</b></p> <p>この内容を見逃して誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。</p>
	<p><b>火災の危険あり</b></p> <p>注意事項を守らない場合、火災を起こす危険性を持った内容であることを示しています。</p>
	<p><b>感電注意</b></p> <p>この内容を見逃して誤った取扱いをすると感電する恐れがあることを示しています。</p>
	<p><b>分解禁止</b></p> <p>感電・故障の原因となるために、分解を禁止する内容を示しています。</p>
	<p><b>行為の指定</b></p> <p>安全のために行為を指定する内容であることを示しています。</p>
	<p><b>行為の禁止</b></p> <p>感電・故障・けがの原因となるために、行為を禁止する内容であることを示しています。</p>
	<p><b>海拔2000mを超えない地域でのみ可能</b></p>

使用法に関する注意事項



**分解・改造の禁止**

本書に指示されている以外の分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災・故障の原因となります。



**開口部にもものを入れない**

吸気口や排気口などの開口部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落としたりしないでください。 感電・火災・故障の原因となります。



**正常な状態で使用する**

異物や水などの液体が内部に入ってしまったたり、結露が発生した場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災・故障の原因となります。



**ファンが止まったままの状態で使用しない**

ファンが止まったまま使用しつづけると、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。 ファンが止まってしまった場合には、計測技術研究所のサービス担当者までご連絡ください。



**正しい使用法で使う**

本書に記載されている以外の順序・方法で操作しないでください。間違った方法で操作すると、感電・火災・故障の原因となります。



**通気口をふさがない**

新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って本製品の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。



**十分な通気のための機器周辺の最小距離を確保する**

機器周辺に通気距離を10 cm以上確保してください。



**機器上に、例えば、火のついたローソクのような裸火を置かないでください**



**電池の廃棄による環境影響に注意を払ってください**



**熱帯および／又は温帯気候における機器使用は機器の使用範囲を守って使用する**



**DualLink 信号を使った収録時には Link-A と Link-B を確認する。**

DualLink 信号は Link-A と Link-B で伝送データが異なります。もし Link-A と Link-B を逆に接続した場合、正常な映像データとして収録できません。

**電源に関する注意事項**

ヒューズを交換する場合、必ず本体から AC ケーブルを抜いて作業をしてください。



AC インレットは容易に操作できるようにしておいてください

**正しい電源電圧で使用する**

指定されている電源・電圧以外は接続しないでください。 感電・火災・故障の原因となります。

**電源コードを傷つけない**

電源コードを取り扱う際は、次の事をしないでください。 感電・火災・故障の原因となります。



- 電源コードを改造したり、傷つけたりする
- 電源コードの上に重いものを乗せる
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりする
- 熱器具の近くに配線したり、加熱したりする
- 濡れた手で電源コードを取り扱う
- 破損している電源コードを使用する

## 設置・運搬に関する注意事項

### 故障の原因となる環境に設置しない



本製品は精密な電子部品で作られています。 次のような場所に設置や保管をすると、動作不良や故障の原因となりますので必ず避けてください。

- ホコリやチリの多い場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房器具に近い場所

### 動作不良や故障の原因となる環境に長時間設置しない



- 直射日光の当たる場所
- 温度・湿度変化の激しい場所
- 衝撃・振動・磁気・静電気のある場所

### 安全アースを接続する



電源コードは感電を避けるために、必ずアース端子のあるコンセントに差し込んでください。 3P-2P 変換プラグを使用して 2 線式単相電源に接続する場合は、必ずアダプタのアース線を接地してください。

### 安定した場所に設置する



ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、製品が落下してけがや故障の原因となります。

### 機器周辺に物を置かない



- 水の入ったもの、花瓶などを機器の上に置かないでください。



**長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く**

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

**移設は、電源プラグを抜いた状態で行う**

本製品を移動する場合は電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

コードが足などに引っかかり、けがの原因となることがあります。

**運搬するときは慎重に行う**

しっかりと持って慎重に運ぶようにしてください。

**ビデオメディアは慎重に扱う**

ビデオメディアパックに内蔵されている記録部品は精密機器です。

記録部品は衝撃・振動に非常に弱いので、慎重に扱ってください。

衝撃や振動は故障の原因となります。

**配線やお手入れの際は電源プラグを抜く**

電源プラグを差し込んだまま配線やお手入れをすると、感電の原因となります。



振動や音圧のかかる場所で使用しないでください。

精密機器ですので振動のある場所や極端に音圧がかかる場所に設置して使用しないでください。特に以下の環境での使用はできません。

振動：9.8[m/s<sup>2</sup>]以上

音圧：100[dB]以上

## 清掃に関する注意事項



### 電源プラグを定期的にコンセントから抜いて清掃する

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元及び刃と刃の間を清掃してください。

電源プラグを長期間コンセントにさしたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが附着しショートして火災の恐れがあります。

## 液晶画面に関する注意事項



### 液晶画面に物をぶつけない

液晶画面に硬い物をぶつけると、液晶画面が割れることがあります。

## メディアの速度低下に関する注意事項



画像データ保存に使用しているメディアは、使用を続けると断片化の影響で速度低下が発生し、再生/収録時に不具合を起こす可能性があります。

速度低下の状況に関しては、解析が必要となりますので本体ログを取得し、メーカーサポートへご連絡ください。

# 1. 製品の設置

## 1.1 搬入と開梱



### 指定

当製品を輸送する場合は、製品の梱包材または同等以上の梱包材を使用してください。



### 警告

本体の上には重量物(5kg 以上)をおかないでください。故障・破損の原因となります。

搬入は梱包したままの状態で行い、据え付け場所近くの平坦な場所で開梱してください。

### (1) 梱包内容の確認

本製品を設置する前に以下のものがそろっているかを確認してください。万一不足しているものがある場合にはご連絡ください。

#### ① 本体×1

機種	UDR-XL40	UDR-XL40e
寸法	209(W)x131(H)x500(D)mm (突起部含まず)	209(W)x131(H)x505(D)mm (突起部含まず)
質量	6.5kg (ビデオメディアパック x1 を含む)	

#### ② 製品保証書×1

保証規定・修理サービスに関する情報内容が記載されております。

#### ③ セットアップガイド×1

本書です。

#### ④ リリース CD×1

#### ⑤ 電源コード (3P) ×1

## 1.2 電源



### 感電注意

濡れた手で電源部に触りますと、感電の恐れがあり大変危険です。絶対に濡れた手で触らないでください。



### 火災注意

電源プラグをコンセントにさしたまま、電源電圧を切り換えると火災の原因となります。

### AC 電源の容量 (AC 入力モデル)

電源電圧	: AC100 – 240V
電源周波数	: 50/60Hz
消費電力	: 300W Max. 通常運転時.

JIS C 61000-3-2 準用品<sup>(\*)</sup>

※電源容量 : 6A 以上供給可能な電源コンセントにつないでください。

(\*) JIS C 61000-3-2 準用品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」を準用し、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。

本体付属の AC ケーブルは本製品専用です。他の製品に使用しないでください。

## 1.3 設置環境



### 火災注意

本製品の通風孔をふさがないでください。  
内部に熱がこもり火災の原因となります。



### 注意

設置環境にはご注意ください。 寒暖の激しいところや砂埃の多いところ、極度に湿気が多い場所に長時間設置して使用されると故障の原因になります。

#### ① 温度

動作温度 : +5°C~+ 40°C (温度変化は1時間あたり20°Cまで、結露無きこと)

保存温度 : -10°C~+ 50°C (結露無きこと)

#### ② 湿度

動作湿度 : 25%~80% RH (湿度変化は1時間あたり20%まで、結露無きこと)

保存湿度 : 10%~90% RH (結露無きこと)

#### ③ 設置環境

本製品の設置は、水平で安定した場所に行ってください。

背面及び前面の通風孔から20cm以上の空間を確保してください。

両側面の通風孔から2cm以上の空間を確保してください。

製品の周囲は十分な換気が行われ動作温度内に確保される必要があります。

動作中は振動を与えないでください。

特に以下の環境への設置は避けてください。

- 直射日光のあたる場所
- ホコリやチリの多い場所
- 温度・湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房器具に近い場所
- 衝撃・振動・磁気・静電気のある場所

## 1.4 設置スペース



**警告**

本製品は重量物ですので、ラックへ設置する場合にはラックアダプタのネジ穴だけでは取り付けられません。ご使用になられるラックに対応したガイドレールをご利用ください。尚、本製品にガイドレールは付属しておりません。必要な際はお問い合わせください。



**警告**

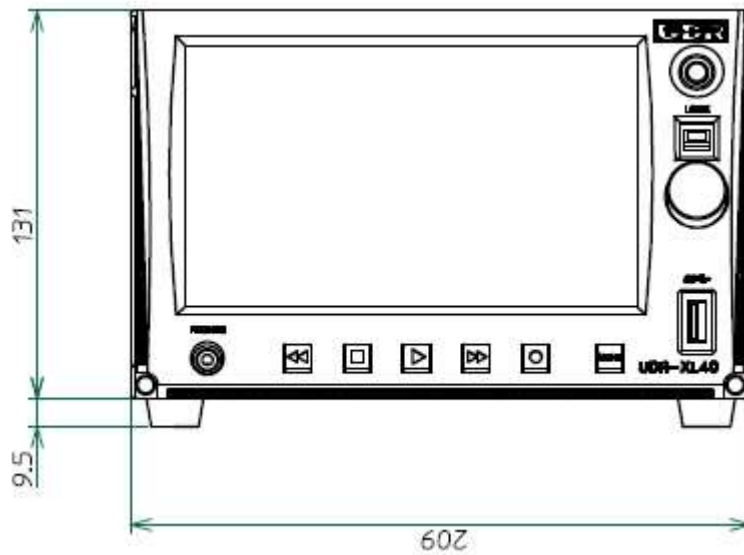
本製品は重量物ですので、製品の取っ手をしっかりと持って慎重に運ぶようにしてください。

以下に外形寸法図を示します。背面及び前面の通風孔から 20cm 以上の空間を確保してください。

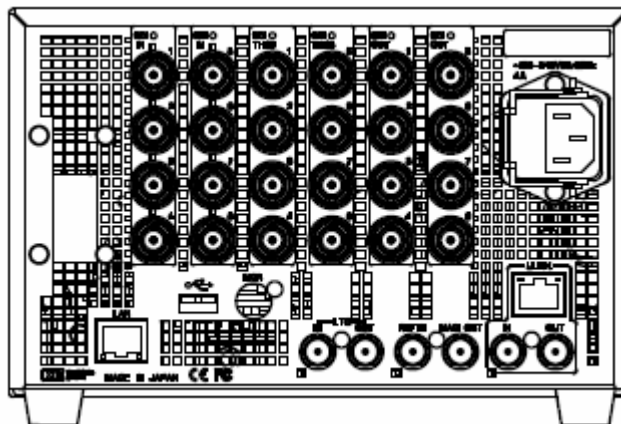
### 1.4.1 UDR-XL40

#### ① 外形寸法 (単位 mm)

正面



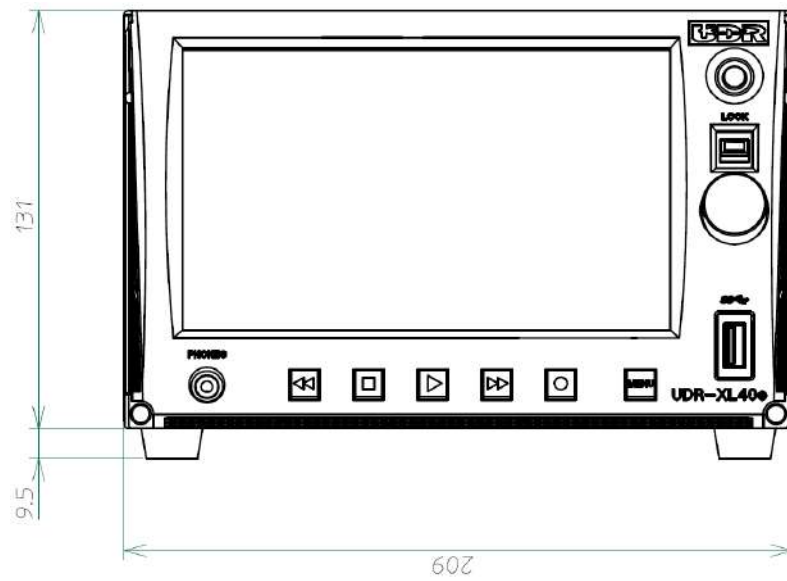
後部



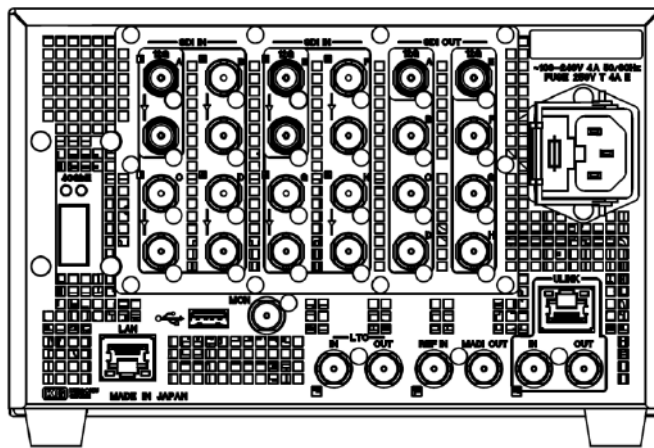
## 1.4.2 UDR-XL40e

① 外形寸法 (単位 mm)

正面



後部

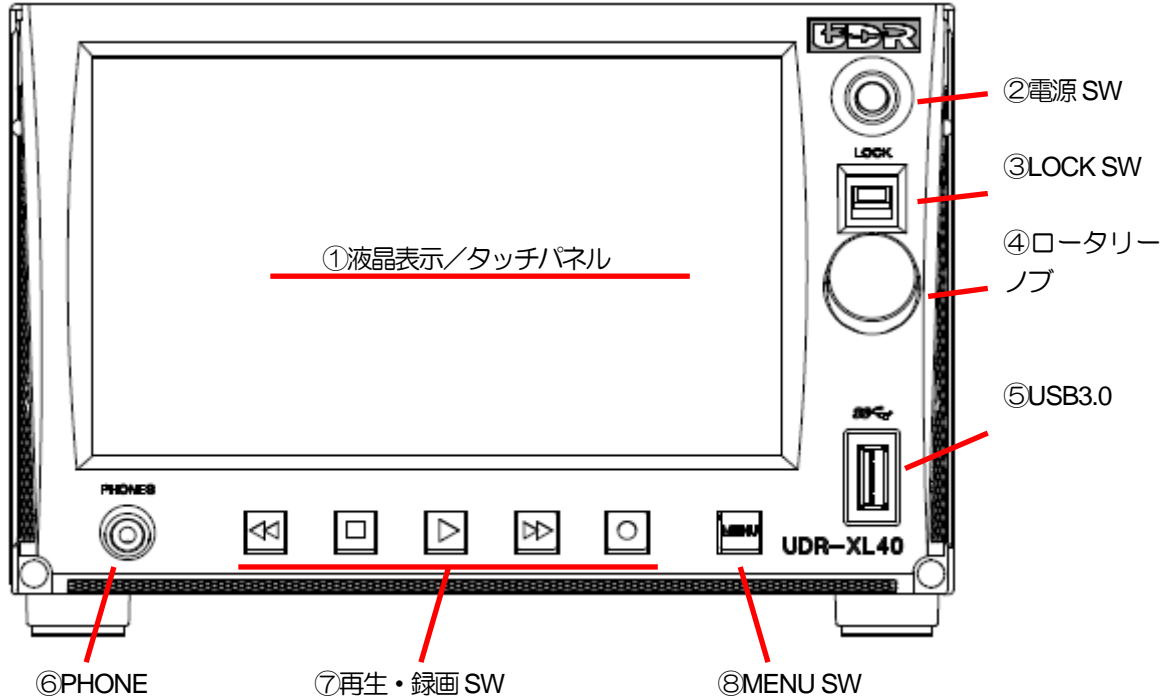


## 1.5 各部の名称と機能

説明が無いコネクタはメンテナンスで使用しますので、通常は使用しません。

### 1.5.1 UDR-XL40

#### (1) コントロール部・前面



#### 各部の働き

##### ① 液晶表示/タッチパネル

画像、各種状態、設定項目を表示する表示パネルです。  
パネル表面は、静電容量タイプのタッチパネルとなっており  
設定や状態確認の操作をすることができます。

##### ② 電源 SW

本体の電源スイッチです。(電源ON：押し込み / 電源OFF：3秒間押し込み)

##### ③ LOCK SW (LED)

前パネルの操作を禁止します。(上：禁止 (LED点灯) / 下：解除)

##### ④ ロータリーノブ

設定を行う際のメニュー項目表示制御や、ジョグ・シャトル操作を行うときに使用します。

##### ⑤ USB3.0

画像データのUPLOAD/DOWNLOADを行うときに使用します。

##### ⑥ PHONE

ヘッドフォン出力を聞くとときに使用します。



## ⑦ 再生・録画 SW

再生・録画の動作・設定状態を表示します。状態によりボタンの明るさが変わります。



: REW ボタン (早戻し再生中はボタンが明るく点灯)  
早戻し再生をします。押す毎に早戻し速度が上がります (-2, -5, -10, -20, -50, -100, -200, -500)。500 倍速以上で先頭にジャンプします。  
STOP を押したまま REW を押すとクリップの先頭にジャンプします。



: STOP ボタン  
再生中のクリップを停止します。



: PLAY ボタン (再生中はボタンが明るく点灯)  
選択中のクリップを再生します。再生中ボタンが明るく点灯します。



: FF ボタン (早送り再生中はボタンが明るく点灯)  
早送り再生をします。押す毎に早送り速度が上がります (+2, +5, +10, +20, +50, +100, +200, +500)。500 倍速以上で終端にジャンプします。  
STOP を押したまま FF を押すとクリップの終端にジャンプします。

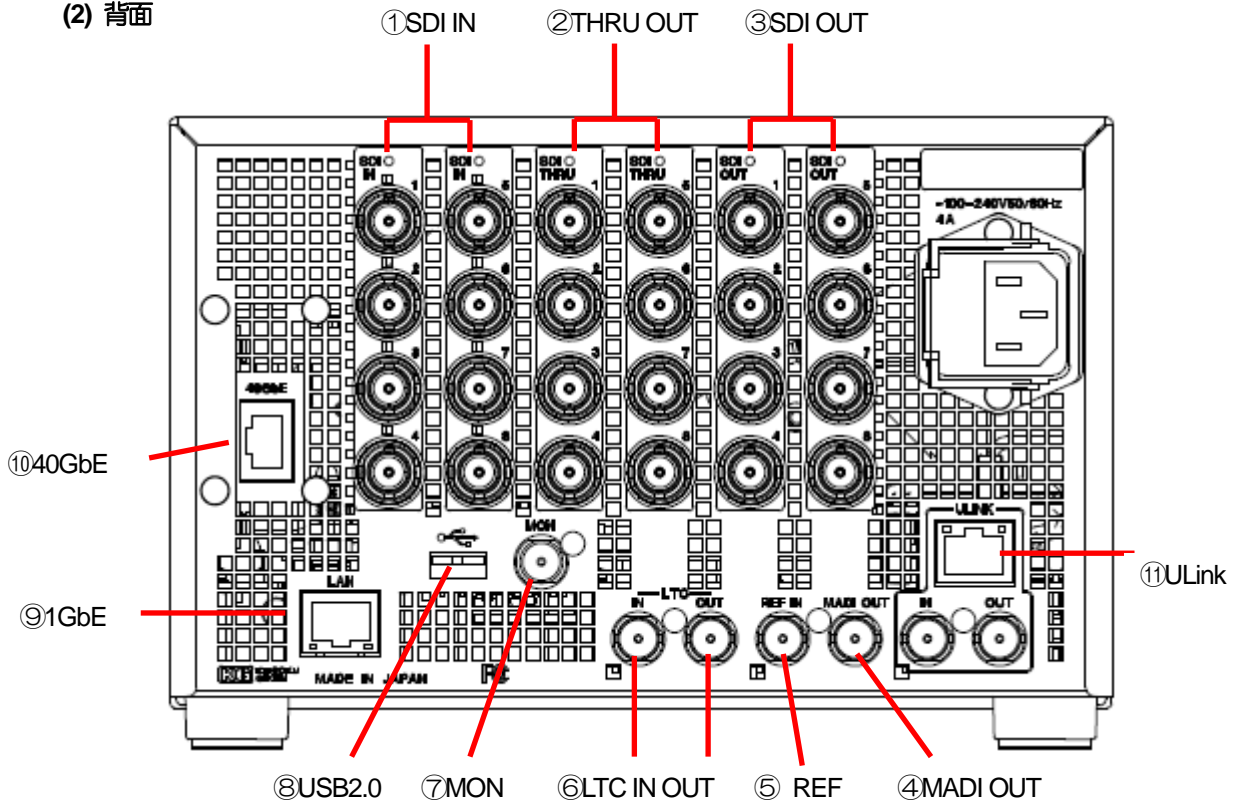


: REC ボタン (録画中はボタンが明るく点灯)  
REC を押したまま PLAY を押すと録画開始します。  
REC のみ押すとスルーモードが ON/OFF します。

## ⑧ MENU SW

HOME 画面と MENU 画面の切り替えをします。

(2) 背面

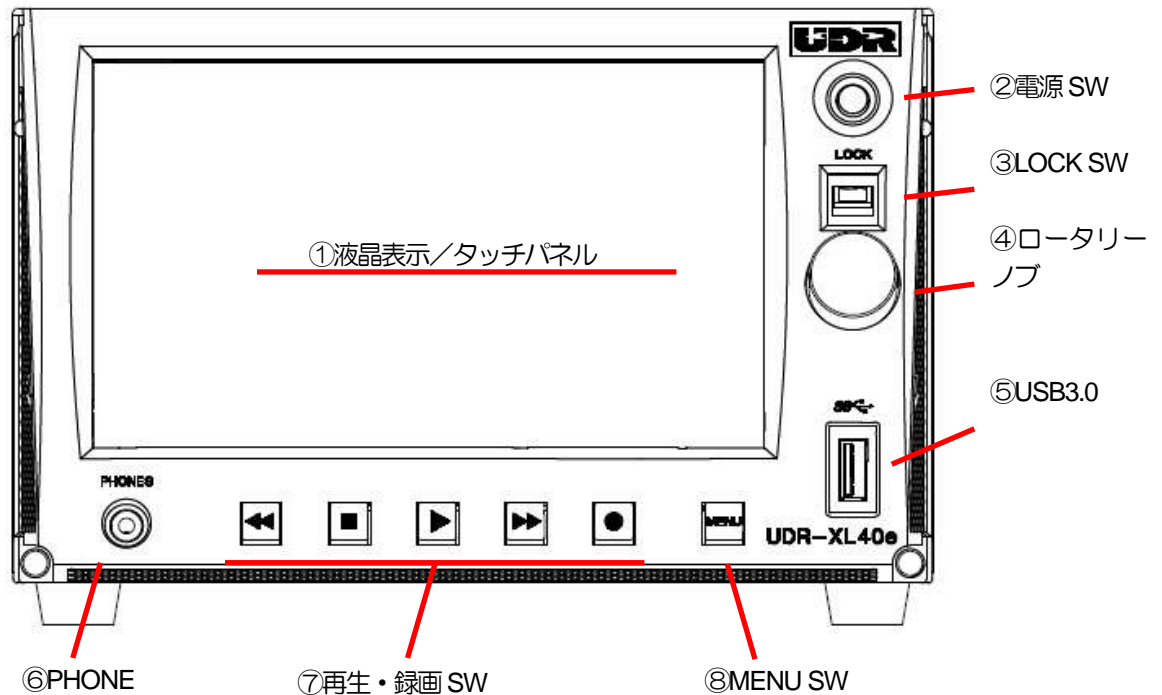


各部の働き

- ① SD I 入力コネクタ (x8ch)
- ② SD I 入力 スルー出力コネクタ (x8ch)
- ③ SD I 出力コネクタ (x8ch)
- ④ MADI 出力コネクタ
- ⑤ リファレンス入力コネクタ
- ⑥ LTC 入出力コネクタ
- ⑦ SD I モニター出力コネクタ
- ⑧ USB2.0コネクタ
- ⑨ 1GbEtherコネクタ
- ⑩ 40GbEtherコネクタ (オプション)
- ⑪ ULink Etherコネクタ

## 1.5.2 UDR-XL40e

### (1) コントロール部・前面



#### 各部の働き

##### ① 液晶表示/タッチパネル

画像、各種状態、設定項目を表示する表示パネルです。  
パネル表面は、静電容量タイプのタッチパネルとなっており  
設定や状態確認の操作をすることができます。

##### ② 電源 SW

本体の電源スイッチです。(電源ON：押し込み / 電源OFF：3秒間押し込み)

##### ③ LOCK SW (LED)

前パネルの操作を禁止します。(上：禁止 (LED 点灯) / 下：解除)

##### ④ ロータリーノブ

設定を行う際のメニュー項目表示制御や、ジョグ・シャトル操作を行うときに使用します。

##### ⑤ USB3.0

画像データのUPLOAD/DOWNLOADを行うときに使用します。

##### ⑥ PHONE

ヘッドフォン出力を聞くとときに使用します。

⑦ 再生・録画 SW

再生・録画の動作・設定状態を表示します。状態によりボタンの明るさが変わります。



: REW ボタン (早戻し再生中はボタンが明るく点灯)  
早戻し再生をします。押す毎に早戻し速度が上がります (-2, -5, -10, -20, -50, -100, -200, -500)。500 倍速以上で先頭にジャンプします。  
STOP を押したまま REW を押すとクリップの先頭にジャンプします。



: STOP ボタン  
再生中のクリップを停止します。



: PLAY ボタン (再生中はボタンが明るく点灯)  
選択中のクリップを再生します。再生中ボタンが明るく点灯します。



: FF ボタン (早送り再生中はボタンが明るく点灯)  
早送り再生をします。押す毎に早送り速度が上がります (+2, +5, +10, +20, +50, +100, +200, +500)。500 倍速以上で終端にジャンプします。  
STOP を押したまま FF を押すとクリップの終端にジャンプします。

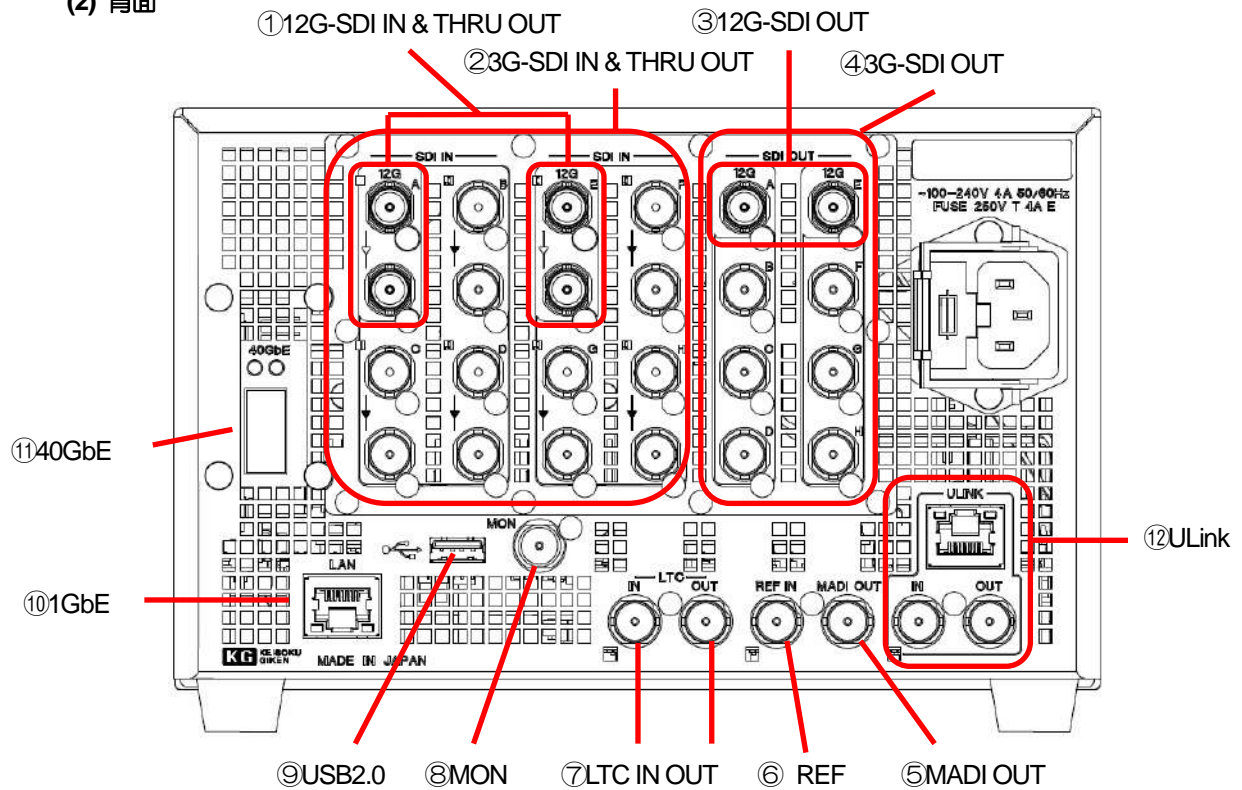


: REC ボタン (録画中はボタンが明るく点灯)  
REC を押したまま PLAY を押すと録画開始します。  
REC のみ押すとスルーモードが ON/OFF します。

⑧ MENU SW

HOME 画面と MENU 画面の切り替えをします。

## (2) 背面



## 各部の動き

- ① 12G-SDI入力コネクタ & 入力 スルー出力コネクタ (x2ch)
- ② 3G-SDI入力コネクタ & 入力 スルー出力コネクタ (x8ch)
- ③ 12G-SDI出力コネクタ (x2ch)
- ④ 3G-SDI出力コネクタ (x8ch)
- ⑤ MADI出力コネクタ
- ⑥ リファレンス入力コネクタ
- ⑦ LTC入出力コネクタ
- ⑧ SDIモニター出力コネクタ
- ⑨ USB2.0コネクタ
- ⑩ 1GbEtherコネクタ
- ⑪ 40GbEtherコネクタ (オプション)
- ⑫ ULink Ether & BNCコネクタ

## 1.6 ケーブル接続方法



### 注意

作業を行う前に背面の AC ケーブルを抜いてください。感電やけがの原因となることがあります。



### 注意

本製品は重量物です。製品を扱う際はご注意ください。落下するとけがの原因になります。



### 感電注意

濡れた手で作業をしないでください。感電や故障の原因になります。

#### ① SD I 出力ケーブルの接続

SD I 出力端子(BNC コネクタ)とディスプレイやプロジェクタなど表示装置と、BNC ケーブルで接続してください。(BNC ケーブルは帯域仕様に合ったものを使用してください)

#### ② SD I 入力ケーブルの接続

SD I 入力端子(BNC コネクタ)とカメラなどと、BNC ケーブルで接続してください。(BNC ケーブルは帯域仕様に合ったものを使用してください)

#### ③ ホストコンピュータからネットワーク経由で制御する場合

ネットワークを経由して UDR-XL40 / XL40e を制御する場合、Ethernet のタイプにあった LAN ケーブルを接続します。(ケーブルは帯域仕様に合ったものを使用してください)

接続先 : リアパネル 1GbEther コネクタ

接続先 : リアパネル 40GbEther コネクタ (オプション)

#### ④ LTC (linear time code) を使用する場合

LTC 入力(BNC コネクタ)へ LTC 入力信号線を、50Ωの同軸ケーブルで接続します。

#### ⑤ アナログビデオリファレンス同期信号を使用する場合

REF IN (BNC コネクタ)へ 3 値同期信号または BB 信号を、75Ωの同軸ケーブルで接続します。

アナログリファレンス信号を基準に同期させるためには、GENLOCK の設定を Ref-IN に設定する必要があります。設定方法についてはオペレーションマニュアルをご覧ください。

#### ⑥ 電源コードの接続

ユニットの電源プラグをコンセントに差し込みます。



### 注意

電源コードは感電を避けるために、必ずアース端子のあるコンセントに差し込んで下さい。3P-2P 変換プラグを使用して 2 線式単相電源に接続する場合は、必ずアダプタのアース線を設置して下さい。

## 1.7 ケーブルの取り外し



### 注意

本製品は重量物です。製品を扱う際はご注意ください。落下させたりしてけがの原因になります。



### 感電注意

濡れた手で作業をしないでください。感電や故障の原因になります。

- ① UDR-XL40 / XL40e が再生又は収録動作をしていないことを確認し、ユニット前面の電源SWを4秒以上押し続けたのち、放します。
- ②電源SW LEDが消灯するのを待ちます。(1分~2分必要です)  
3分待っても電源SW LEDが点灯している場合は、強制終了操作を行います。  
  
※強制終了操作  
LEDが消灯するまで、電源SWを押し続けください。
- ③ LANケーブルまたは、外部制御ケーブルが接続されている場合には取り外します。
- ④ SDI 入出力ケーブルを取り外します。
- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを本体から外します。

## 2. 運転操作

### 2.1 起動

- ① 各ケーブルが所定の位置に接続されていることを確認します。
- ② 電源プラグがコンセントにしっかりささっていることを確認します。
- ③ ユニット前面の電源スイッチを 1 回押します。
- ④ UDR-XL40 / XL40e が起動します。 初期画面が表示されるまでお待ちください。

※2分以上しても初期画面が表示されない場合は、  
電源SWを 4 秒間押し続けたのち、放します。  
1～2分で電源がOFFされます。

### 2.2 設定や各種操作

※ XLGUI 操作マニュアルを参照ください

### 2.3 電源を切る



記録・再生中に電源を切らないでください。 記録メディア故障の原因になります。  
電源を切る場合は、必ず以下の手順に従ってください。

#### 注意

- ①前パネル電源SWを、4秒間押し続けたのち放す
- ②電源SW LEDが消灯するまで待ちます。  
3分程度かかる場合があります。

※電源が切れない場合  
10秒以上押し続けると強制終了となりますが  
システムに異常をきたす可能性があります。  
システムハングアップ時以外は実施しないでください



#### 注意

電源コードから供給されている電力を停止させることで、電源を切らないで下さい。  
電源を切る際には、必ず本体前部にある電源スイッチを使用して下さい。



#### 注意

長期間にわたって電源OFF状態に置いた場合、記録データが不安定となり再生に影響を及ぼします。  
半年以上、電源OFF状態にする場合はデータのバックアップを行ってください。  
また、再生異常が発生した場合はコンテンツの再書き込みを行ってください。



## 2.4 ビデオメディアの交換

本製品のビデオメディアパックは、本体の電源がOFF のときに交換することができます。



### 注意

ビデオメディアパックは、ホットスワップには対応しておりません。  
メディアを交換するときは、本体の電源を必ず OFF にしてから行ってください。

## 3. メンテナンス

### 3.1 清掃について

当製品の汚れは、柔らかい布で適宜拭き取ってください。



### 注意

プラスチック類を変質させる恐れのある有機溶剤(ベンゼン、アセトン等)の使用はさけてください。  
また、溶剤などの液体が、機器内部へ入り込むことのないよう注意してください。

### 3.2 定期チェック

半年に1回程度、次の事項をチェックしてください。

- 吸気口やファンに付いたゴミ、ほこりの除去
- 周囲荷物の積み上げ等によって吸気口・排気口がふさがれていないか



### 注意

点検の際は、電源を“OFF”にし、背面の電源コードを抜いて完全に停止させてから行ってください。

## 4. 更新履歴

Revision	Date	Revision Description
1.0.0	2017/01/30	初版 暫定版
1.1.0	2018/08/10	メディアの速度低下に関する注意事項 を追加 質量を 8.0Kg から 6.5Kg へ変更 保存温度を-10℃～60℃ から -10℃～50℃ へ変更
1.2.0	2019/02/07	ビデオメディアの交換に関する事項を追加
1.3.0	2022/08/02	UDR-XL40e に関する情報を追記し、文書名を「UDR-XL40 / XL40e セットアップガイド」に変更

# 株式会社 計測技術研究所

ビジュアルウェア・カスタマ・サポート

URL : <https://www.keisoku.co.jp/vw/>

E-mail : [VW-support@hq.keisoku.co.jp](mailto:VW-support@hq.keisoku.co.jp)



株式会社 計測技術研究所 ビジュアルウェア・カスタマ・サポート

**GDR** series

UDR-XL40 / XL40e\_セットアップガイド